

2018年1月13日(土) 日本山岳会埼玉支部 新年山行と新年懇親会が開催されました。山行コースは奥武蔵ユガテ～スカリ山です。

宮川リーダーから「新しい年の初めに、山の仲間と共に一緒に過ごしませんか？ロウバイの咲くユガテ、瀬音のする食事処と癒しの空間をご用意しました。」という何とも新年に向けて新鮮な気持ちで歩きたくなるようなワクワクするキャッチコピーのお誘いが届きました。小生、昨年末入会させていただき今回の山行が始動です。

西武秩父線 東吾野駅 9時40分集合、1月の空の下で少々肌に冷たさは感じるものの雲ひとつない晴天です。リーダーの指揮のもと駅広場での準備運動は十分完了。

山行は参加者23名(男性17名 女性6名)平均年齢71.43歳、さっそく3班に分かれて歩き始めました。

まずは、国道299号線に出る東吾野橋を渡り右に100mほど進むと、吾那神社があります。ここで全員一年の安全登山祈願をして記念撮影をしました。何かいろいろと身を守っていただけそうです。

コースの次の地点橋本山(321m)に向けて進みます。やがて杉林の間から集落が下に見えるはじめ、だんだんと奥武蔵の山が広がって来ました。

橋本山は西側が伐採されてのびのびした展望が味わえます。深い針葉樹林をぬけ、やがて東吾野駅より約1時間、山の中に急に開けた平地に出ました。ユガテ(290m)に到着です。民家2軒、山奥で畑を耕し暮らしているそうです。きっと猪対策でしょう、畑の周りには厳重に柵が覆われています。休めるテーブルやベンチがあり長閑な雰囲気の中、ここでやや早い昼食タイムです。「いいな～こんな時間」どなたかがつぶやいています。ほんとうに贅沢な至福のひと時です。全員おもいきり冬のお日様に向かって記念撮影です。

そしてコース後半のスタートです。40分ほど歩いたところに北向地蔵がありました。訳も分らずただ頭を下げましたが能書きには「1786年(天明6年)流行した悪疫を防ぐため野州(栃木県)岩舟地蔵尊から分身として譲り受けたとあり、この場所から北方となる岩舟地蔵尊の方向を向いているのでこの名が付いたとか。

その後15分でスカリ山に到着。北から西にかけての展望が開けています。遠く三角のピラミダルな姿は見慣れた武甲山、はるか遠くに雪化粧の赤城山、榛名山が見えます。やがてコースも終盤、全行程4時間半の新年山行も高麗駅に全員無事集結！

この後の新年懇親会の会場は飯能 清河園にてなごやかに開催されました。まずは松本支部長の「これからも思い出に残る山行活動を」というご挨拶からはじまり、また今後の会運営についてのお話がありました。その後ひとりひとりの楽しい自己紹介、最後に高橋副支部長から「今後はもっと女性会員の積極的参加を」との締めのご挨拶がありました。

今回いろいろとご足労いただいたリーダーの宮川様をはじめ皆様には大変お世話になりお陰様で楽しい時間を過ごすことが出来ました。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。

(林 信行記)

